

『武庫庄っ子』（生活指導通信）

令和3年度 年間重点生活目標「気持ちのよいあいさつをしよう」

◇2月生活目標

名札をつけよう

名札はどうして付けるの？

ひと昔前までは、家から名札を付けて登校し、付けたまま下校する。それが子どもたちの習慣としてありました。登下校中に、何かトラブルがあった際、子どもや学校の特定を早期にできるという良さがありました。今では、個人情報保護の観点から、登下校中には付けず、学校の中でのみ、付けるという習慣です。そうなる疑問に浮かぶのは、「どうして付ける必要があるのか。」ということ。

名札は、その人のステータスを表すものであり(小学生の内は名前のみですが・・・)、初対面の人にも自分のことを伝えられる物です。学校というのは、先生や他学年の友達、同学年でもそれほど親しくない友達など、たくさんの人と生活しています。全員の名前を覚えられるとよいですが、それは難しいです。そのため、名札を見ればお互いが名前を呼ぶことができる。名札というのは「コミュニケーションを取ることが気軽にできるための物」なのです。昨今、人との直接的なコミュニケーションが減少する中で、子どもたちの中で少しでも人とのコミュニケーションが増えることを願っています。

当たり前のことを当たり前に取り組む。

※ここで言う「当たり前のこと」とは、習慣やルールのことを意味し、「当たり前に取り組む」とは、続ける・しっかり守るということを意味します。

子どもたちは小学校に入学し、様々な習慣を身に付けてきました。上記で述べた「名札を付けること」もその一つです。他にも、靴を揃える、登校班で登下校する、友達へは優しく声をかけるなど挙げだしたら切りがありません。「凡事徹底」なんて言い方もありますが、身に付けた当たり前のことを徹底してやることは、勉強でもスポーツでも仕事でも、成功している人に共通している素質だと思えます。

大勢の中で生活している中で、身に付けた習慣を続け、ルールをしっかりと守ることはとても大切なことです。

武庫庄小学校の子どもたちは、当たり前のことを当たり前に取り組もうと日々頑張っています。そんな子どもたちを職員一同で支えていきますので、保護者の皆様もご協力お願い致します。